

芸術と憲法を考える連続講座 第5回

講師 山田健太先生（専修大学教授）

安倍改憲と表現の自由

日時: 2018年4月25日（水）18:30-21:00（開場 18:15）

会場: 東京藝術大学上野キャンパス音楽学部5号館1階109教室

入場無料（申し込み不要）

※藝大生も一般市民も、どなたでもご参加いただけます。

戦後、言論・表現の自由が保障されてきた日本。今、その自由が揺らぐ中、憲法改正論議が始まっている。市民不在の改憲はどんな社会を生み出すのか？公権力・メディア・市民の関係の検証から、その答が見えてくる。

山田健太（やまだ・けんた）

1959年生まれ。専修大学人文・ジャーナリズム学科教授、専門は言論法。日本ペンクラブ専務理事。放送批評懇談会、自由人権協会、情報公開クリアリングハウスなどの各理事を務める。著書『放送法と権力』『見張り塔からずっと 政権とメディアの8年』『法とジャーナリズム 第3版』『言論の自由 拡大するメディアと縮むジャーナリズム』など多数。毎日新聞、東京新聞、琉球新報にコラムを連載中。



※藝大生と山田先生による「討論&質問コーナー」を予定しています。



← 最新の情報は、藝大有志の会 HP にアクセスして下さい。

主催 東京藝術大学音楽学部楽理科 / 後援 日本ペンクラブ
共催 自由と平和のための東京藝術大学有志の会

お問い合わせ: kenpou.geidai@gmail.com (川嶋)